

# eラーニング整備の基本方針(案)

## ① これまでの経緯

### 平成26年度の検討

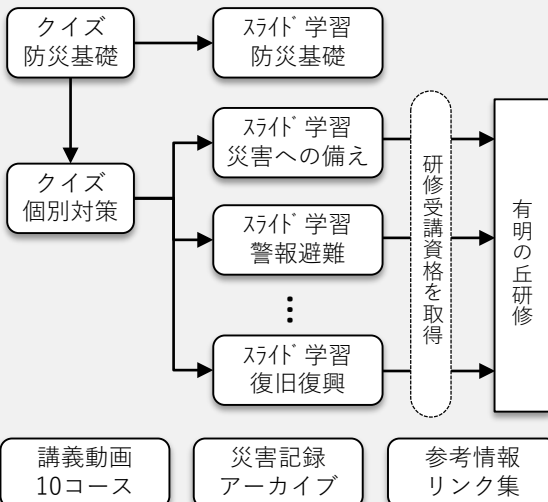
#### eラーニングの仕組みの検討

##### ○目的

- ・ 研修受講資格を取得する
- ・ 関連付けられた知識を身につける

##### ○コンテンツの種類

- 1.クイズ 2.研修受講資格取得
- 3.スライド学習 4.講義動画
- 5.災害記録アーカイブ 6.参考情報リンク集



### 平成28年度の実施

#### 研修の「事前学習」の実施

##### ○目的

研修効果を高めることを目的に、研修で学ぶ基本的な知識について確認する「事前学習」を実施。

##### ○内容

研修開始1週間前に、以下の資料を受講生にメール送付し、事前学習を促す。

- ◆ 事前学習シート（問題と解説）
- ◆ 標準テキスト(1)～(15)

##### ○対象

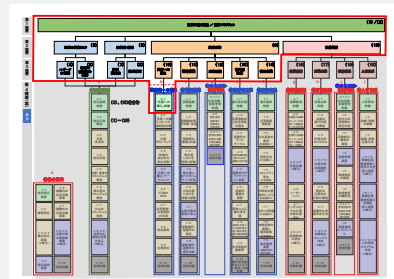
①防災基礎、②災害への備え、③警報避難、④応急活動・資源管理、⑤被災者支援、⑥復旧復興の6コース

##### ○テスト形式

○×方式

##### ○出題

15問（共通問題）+α（コース特有の問題）、全体で20問前後



## ② eラーニングに求めるもの

### ○ eラーニングを導入する意図は？

- ・ 研修を通じて効率的・効果的に知識・技能・態度を身につけてもらうために活用したい。

- ① 何について学ぶのかを知る
- ② 何が分からないのかを知る
- ③ 受講に必要な最低限の知識を身につける

- ・ より多くの人に、関連付けられた知識を身につけてもらいたい。
- ・ 将来的には、反転授業を導入するなど**研修の高度化**に役立てたい。

### ○ どのようなeラーニングが必要か？

【いつでも・どこでも学習できる】 隙間時間を見つけて、いつでも・どこでも手軽に学習できるとよい。

【短時間で繰り返し学習できる】 短時間で、飽きずに繰り返し学習できるとよい。

【個々人にあった学習内容】 学習者のレベル等に応じて、学習内容を変えることができるとよい。

【更新性がよい】 法律の改正や社会状況の変化に応じてコンテンツを手軽に更新できるとよい。

【継続性がある】 管理がしやすい、維持費ができるだけかからないシステムを実現したい。

### ③ eラーニングの整備の方向性(案)

① 何について学ぶのかを知る

⇒ 基本事項をスライドなどで学習

② 何が分からないのかを知る

⇒ クイズ形式で学習

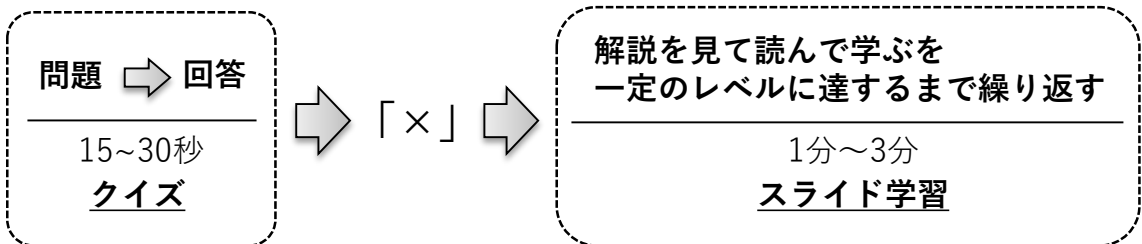
③ 受講に必要な最低限の知識を身につける

⇒ クイズ形式で間違えることをきっかけとして、繰り返し学び一定の成績に到達する学習

#### <コンテンツ (案) >

① 基本事項をスライドで学習

②③ 「クイズ」に答えて間違えることをきっかけとした学習



### ④ 当面の整備方針

- 有明の丘研修の1コースで具体的なコンテンツの作成
- 「研修指導要領」に基づいた内容とする
- コンテンツの更新・維持の容易さを確保
- 有明の丘研修第2期の事前学習として試行・検証し、次年度以降につなげていく